

# 付 属 資 料



## 諮 問 文

10企調第218号

平成10年5月15日

福島県総合開発審議会長

下平尾 勲 様

福島県知事 佐藤 栄佐久

### 新しい長期総合計画の策定について（諮問）

時代潮流の変化を踏まえ、21世紀初頭における福島県の基本方向及びそれを実現するための方策を明らかにしたいので、福島県総合開発審議会条例（昭和40年福島県条例第2号）第2条の規定に基づき、新しい長期総合計画の策定について、貴審議会に諮問します。

## 答 申 文

12 総 審 第 12 号

平成12年12月13日

福島県知事 佐藤 栄佐久 様

福島県総合開発審議会長

下平尾 勲

### 新しい長期総合計画の策定について（答申）

平成10年5月15日付け10企調第218号をもって諮問のあった新しい長期総合計画については、審議検討の結果、別添「うつくしま21」のとおり答申します。

なお、この計画に基づく施策の実施等にあたっては、特に、以下の点に格別の配慮を払われるよう要望します。

#### 記

- 1 本計画は県民等とともに新しいネットワーク社会の形成を目指すものであり、その推進にあたっては、県民の十分な理解と協力が不可欠であり、また、本県の県づくりに対する、これまで以上に幅広い人々の共感を呼び起こすことが重要である。

このため、あらゆる機会を通じて、広く県内外に、計画の趣旨及び内容の周知等を図ること。

- 2 県土の均衡ある発展のもとで、一人ひとりが大切にされ、いきいきと生活できる社会を実現するため、人口構造の変化や地域の特性等に十分配慮しながら生活圈づくりを進めること。

## 福島県総合開発審議会委員名簿

答申がなされた日  
(平成12年12月13日) 現在

(敬称略・五十音順 ◎部会長 ○副部会長)

氏 名	役 職 名	所属検討部会
-----	-------	--------

## (会 長)

下平尾 勲 福島大学経済学部教授 ◎基本構想

## (副会長)

竹川佳寿子 福島県立医科大学名誉教授 ◎基本計画

坪井 孚夫 福島県商工会議所連合会長 基本構想

## (委 員)

浅野かおる 福島大学行政社会学部助教授 地域構想

穴沢 洋 福島県議会議員 基本構想

池邊八洲彦 会津大学コンピュータ理工学部教授 基本計画

石村 義光 福島県農業協同組合中央会長 基本計画

太田 豊秋 福島県農業会議会長 基本構想

大西 周三 福島県工業クラブ会長 基本計画

大野 雅人 福島県議会議員 基本計画

大和田 豊 福島県漁業協同組合連合会長 地域構想

川田 昌成 福島県議会議員 基本構想

櫛田 一男 福島県議会議員 地域構想

国井 常夫 福島県議会議員 基本構想

黒埼 精三 福島民友新聞社(株)代表取締役社長 基本構想

齋藤 榮吉 福島県森林組合連合会長 地域構想

齋藤 允子 福島県民生児童委員協議会女性部会副部会長 基本構想

佐野 一子 福島県自然保護協会理事 基本計画

嶋原古之助 福島県議会議員 基本計画

嶋 多門 福島県医師会長 基本計画

氏 名	役 職 名	所属検討部会
-----	-------	--------

甚野源次郎 福島県議会議員 地域構想

瀬谷 俊雄 福島県銀行協会会長 基本構想

高橋 伝 福島県町村会長 地域構想

丹治 徹 西部自動車(株)専務取締役 ○基本計画

畠腹 桂子 福島県婦人団体連合会評議員 ○基本構想

平出 孝朗 福島県議会議員 基本構想

古川 正浩 福島県議会議員 基本計画

星 陽子 人権擁護委員 ○地域構想

堀 繁 東京大学アジア生物資源環境研究センター教授 基本構想

松野 光伸 福島大学行政社会学部教授 ◎地域構想

吉田 修一 福島県市長会長 地域構想

吉田 陽美 主婦 基本構想

和合 正義 日本労働組合総連合会福島県連合会長 基本計画

渡辺紀士見 (株)福島民報社取締役論説委員長編集副主幹 地域構想

渡部 譲 福島県議会議員 地域構想

## (特別委員)

田崎 忠行 建設省東北地方建設局長 地域構想

角田 周一 通商産業省東北通商産業局長 基本計画

長岡 壽男 農林水産省東北農政局長 基本計画

根本 典夫 郵政省東北電気通信監理局長 地域構想

林 秀雄 林野庁関東森林管理局長 基本計画

増井 健人 運輸省東北運輸局長 地域構想

安永 隆則 日本銀行福島支店長 基本構想



## 福島県総合開発審議会旧委員名簿

諮問がなされた日  
(平成10年5月15日)以降

(敬称略・役職名は就任当時のもの)

氏 名	役 職 名	就任期間
-----	-------	------

(審議期間中に異動があった委員)

植田 英一	福島県議会議員	～H11.6.30
瓜生信一郎	福島県議会議員	～H11.6.30
岡 實	福島県工業クラブ会長	～H11.9.1
田中 忠義	//	～H12.8.6
加藤 貞夫	福島県議会議員	～H11.6.30
菅家 一郎	福島県議会議員	～H11.6.30
鈴木 武男	福島県議会議員	～H11.6.30
鈴木 浩	福島大学行政社会学部教授	～H11.10.1
橋本 克也	福島県議会議員	～H11.6.30
花田 勗	(株)福島民報社専務 取締役編集主幹	～H12.3.26
半澤 晃一	福島民友新聞社(株) 常務取締役編集局長	～H12.8.6
伴場 忠彦	福島県議会議員	～H11.6.30
松本 允秀	福島県町村会長	～H11.6.30
村山 浩	福島県漁業協同組合連合会長	～H11.2.23
箭内 喜訓	福島県議会議員	～H11.6.30
渡部 篤	福島県議会議員	～H11.6.30
渡辺 一成	福島県議会議員	～H11.6.30

氏 名	役 職 名	就任期間
-----	-------	------

(審議期間中に異動があった特別委員)

青山 俊樹	建設省東北地方建設局長	～H11.2.23
大隅 満	農林水産省東北農政局長	～H12.1.27
木全 紀元	郵政省東北電気通信監理局長	～H11.8.11
飯田 清	//	～H12.8.6
佐々木宜彦	通商産業省東北通商産業局長	～H11.2.23
稲葉 健次	//	～H12.8.6
高松 明	日本銀行福島支店長	～H11.9.30
橋本 雅之	運輸省東北運輸局長	～H11.2.23
茅野 泰幸	//	～H11.8.11
米山 実	林野庁前橋営林局長	～H11.2.23
高橋 徳一	// 関東森林管理局長*	～H12.8.6

(※平成11年3月1日機構改革  
により関東森林管理局に改組)

## 策定部会委員名簿

平成11年 7 月26日～平成12年 3 月27日  
(敬称略・五十音順)

氏 名	役 職 名
-----	-------

(部会長)

下平尾 勲 福島大学経済学部教授

(委 員)

池邊八洲彦 会津大学コンピュータ理工学部教授  
 石村 義光 福島県農業協同組合中央会長  
 櫛田 一男 福島県議会議員  
 齋藤 允子 福島県民生児童委員協議会女性部会副会長  
 佐野 一子 福島県自然保護協会理事  
 嶋 多門 福島県医師会長  
 丹治 徹 西部自動車(株)専務取締役  
 坪井 孚夫 福島県商工会議所連合会長  
 畠腹 桂子 桑折町連合婦人会長  
 古川 正浩 福島県議会議員  
 星 陽子 人権擁護委員  
 吉田 修一 福島県市長会長  
 和合 正義 日本労働組合総連合会福島県連合会長

## 検討小委員会委員名簿

平成10年 5 月15日～平成11年 3 月29日  
(敬称略・五十音順)

氏 名	役 職 名
-----	-------

(委員長)

下平尾 勲 福島大学経済学部教授

(委 員)

池邊八洲彦 会津大学コンピュータ理工学部教授  
 石村 義光 福島県農業協同組合中央会長  
 瓜生信一郎 福島県議会議員  
 齋藤 允子 福島県民生児童委員協議会女性部会副会長  
 佐野 一子 福島県自然保護協会理事  
 鈴木 武男 福島県議会議員  
 丹治 徹 西部自動車(株)専務取締役  
 坪井 孚夫 福島県商工会議所連合会長  
 畠腹 桂子 桑折町連合婦人会長  
 星 陽子 人権擁護委員  
 堀 繁 東京大学アジア生物資源環境研究センター教授  
 吉田 修一 福島県市長会長  
 和合 正義 日本労働組合総連合会福島県連合会長



## うつくしま21策定に関する経緯

### 平成9年度

9月～10月	「地域別振興長期展望」の作成に着手 県民アンケートの実施（「21世紀初頭にわたる“ふくしま”展望」県民意識調査）
--------	---

### 平成10年度

5月11日	政策調整会議を開催し、平成13年（2001年）度を初年度とする新しい長期総合計画（以下「新計画」という。）の策定に着手することを決定。 併せて、全庁的に策定推進を図るため「新長期総合計画庁内策定会議」を設置
5月15日	福島県総合開発審議会（以下「審議会」という。）を開催し、知事から新計画の策定について審議会へ諮問。 併せて、審議会内に新計画の基本的考え方について審議検討する「検討小委員会」を設置
7月	7地域で第1回市町村・県連絡会議を開催
8月1日	新計画策定に関するインターネットホームページを開設
8月～9月	新計画策定への県民の参画を図るため、「新長期総合計画に係る県民アドバイザー（以下「県民アドバイザー」という。）」を募集。応募のあった127名を県民アドバイザーとする
10月19日	検討小委員会の第1回会議を開催し、時代潮流の変化と本県の進むべき方向について審議検討
11月～12月	7地域で県民アドバイザー地域別会議を開催
1月25日	検討小委員会の第2回会議を開催し、新計画策定に当たっての基本的考え方、本県の地域特性などについて審議検討
2月	7地域で第2回市町村・県連絡会議を開催
2月～3月	県民アンケートの実施（ふくしまの未来を描く「21世紀の県づくりのための県民意向調査」）
2月12日	検討小委員会の第3回会議を開催し、現状・課題及び施策検討に当たっての視点について審議検討
3月19日	検討小委員会の第4回会議を開催し、検討小委員会報告素案について審議検討
3月29日	審議会を開催し、「福島県総合開発審議会検討小委員会報告」を了承
3月	県民、市町村職員・県出先機関職員によるワーキンググループが「地域別振興長期展望」を取りまとめる。

### 平成11年度

7月26日	審議会を開催し、新計画策定に向けた検討体制等について検討。 併せて、審議会内に新計画の基本的枠組みについて審議検討する「策定部会」を設置
9月7日	策定部会の第1回会議を開催し、県民意向調査の概要、基本構想の考え方や社会・経済フレームについて審議検討
9月	7地域で県民アドバイザー地域別会議を開催
11月8日	策定部会の第2回会議を開催し、基本施策体系及び地域構想の考え方について審議検討
11月	7地域で第1回市町村・県連絡会議を開催
12月22日	策定部会の第3回会議を開催し、基本構想に掲げる代表的指標の候補等について審議検討

2月2日	策定部会の第4回会議を開催し、社会・経済フレーム、重点施策体系の考え方等について審議検討
2月	7地域で第2回市町村・県連絡会議を開催
3月27日	審議会を開催し、「福島県総合開発審議会策定部会報告」を了承。  併せて、審議会内に新計画の計画案を審議検討する「基本構想検討部会」、「基本計画検討部会」及び「地域構想検討部会」を設置

## 平成12年度

4月～5月	県民アンケートの実施（「施策を評価するための指標」に関するアンケート調査）
5月15日	基本構想検討部会の第1回会議を開催し、基本構想について審議検討（「2010年の県民のくらしを表す代表的な指標」を除く）
6月	7地域で第1回県民アドバイザー地域別会議を開催
6月7日	新計画に盛り込む絵画を小・中学生を対象に募集（「2010年のふくしま」絵画コンクール）
6月14日	地域構想検討部会の第1回会議を開催し、地域構想の「地域づくりの基本的考え方」、「広域連携」及び「地域別構想」のうち県南、会津、相双の各地域について審議検討
6月16日	基本計画検討部会の第1回会議を開催し、基本施策体系の大項目「人」について審議検討
7月24日	地域構想検討部会の第2回会議を開催し、「地域別構想」のうち県北、県中、南会津、いわきの各地域について審議検討
7月25日	基本計画検討部会の第2回会議を開催し、基本施策体系の大項目「くらし」、「環境」について審議検討
8月7日	基本計画検討部会の第3回会議を開催し、基本施策体系の大項目「産業」及び補項目「基盤」について審議検討
8月10日	基本構想検討部会の第2回会議を開催し、「2010年の県民のくらしを表す代表的な指標」及び基本計画の「重点施策体系」を審議検討
9月11日	地域構想検討部会の第3回会議を開催し、新計画の素案を審議検討
9月12日	基本計画検討部会の第4回会議を開催し、新計画の素案を審議検討
9月14日	基本構想検討部会の第3回会議を開催し、新計画の素案を審議検討
10月	7地域で第2回県民アドバイザー地域別会議を開催
同月	7地域で市町村・県連絡会議を開催
10月23日	第1回の審議会正副会長及び正副部会長会議を開催し、新計画の素案について、委員の意見等を踏まえ審議検討
11月2日	第2回の審議会正副会長及び正副部会長会議を開催し、新計画の基本目標、産業関連指標等について審議検討
11月6日	「2010年のふくしま」絵画コンクール入選者を決定
11月14日	第3回の審議会正副会長及び正副部会長会議を開催し、産業関連指標、新計画の素案全体及び答申文（付帯要望）について審議検討
12月5日	審議会を開催し、答申（案）について審議検討。  「うつくしま21（案）」を知事に対し答申することを了承
12月13日	審議会から「うつくしま21」を知事へ答申
12月25日	政策調整会議を開催し、福島県新長期総合計画「うつくしま21」を決定



## 「2010年のふくしま」絵画コンクール入選者名簿（敬称略）

この計画を策定するにあたり、県内の小中学生から2010年の福島県の姿をイメージした絵画を募集したところ、152校、924名の児童・生徒さん方に夢のある作品をお寄せいただきました。

このうち、入選した12作品を本書に掲載しています。

### 小学生の部

最優秀賞	「自然あふれる福島」	蛇石 亜弓 (郡山市立小原田小学校)	19P
特 別 賞	「フルーツひろば」	紺野由香梨 (保原町立保原小学校)	241P
優 秀 賞	「わたしが住みたい2010年のふくしま」	古川紗也子 (二本松市立二本松南小学校)	50P
//	「みらいの福島」	外島 聖大 (飯野町立大久保小学校)	155P
//	「2010年の福島」	大槻明日香 (福島市立森合小学校)	51P
//	「自然がいっぱい福島県」	角田 明史 (霊山町立掛田小学校)	155P
//	「未来」	佐藤 倫紀 (須賀川市立阿武隈小学校)	54P
//	「未来への願望」	安齋杏里紗 (福島市立森合小学校)	49P

### 中学生の部

優 秀 賞	「花いっぱい 夢いっぱい」	小山つかさ (二本松市立二本松第一中学校)	58P
//	「大自然」	金刺 晃史 (福島市立野田中学校)	34P
//	「かわらぬふくしま」	増賀 智恵 (三春町立岩江中学校)	155P
//	「緑多き福島…。」	渡部 万里 (南郷村立南郷中学校)	287P



# 用語解説



## 【用 語 解 説】

## アルファベット・略語

## CATV

Cable Television（ケーブルテレビ）の略です。多チャンネル放送や双方向通信が可能なことから、新しいメディアとして注目されています。

## CIQ

Customs（税関）、Immigration（出入国管理）、Quarantine（検疫）の頭文字をとったもので、いずれも出入国の際に必要な手続きです。

## EDI

Electronic Data Interchange（電子データ交換）の略です。取引データ等を電子情報化してコンピュータ間で交換することにより、手続きや作業の簡素化・迅速化が図られます。

## g-TEQ

ダイオキシン類の毒性の強さを表す単位です。TEQはToxicity Equivalency Quantity（毒性等量）の略で、ダイオキシン類の中で最も毒性の強い物質に換算してその量（g:グラム）を示しています。

## HACCP（ハセップ：危害分析・重要管理点）方式

Hazard Analysis Critical Control Point（危害分析・重要管理点）方式の略です。食品の安全管理の手法で、原料から製品になるまでの製造工程全般にわたって発生可能性のある危害をリストアップし、特に重点的に管理すべき点を定めて監視・記録します。

## ISDN

Integrated Services Digital Network（デジタル総合サービス網）の略で、情報をすべてデジタル信号に統一し、音声・データ・画像通信等を総合的に提供できる統合ネットワークのことです。

## ISO14001

International Organization for Standardization（国際標準化機構=ISO）の定める環境マネジメントシステムの規格です。企業などが自主的、積極的に環境保全に向けた取組みを計画し、実行し、点検し、見直すための規格で、認証を取得するには専門機関の審査が必要です。

## IT

Information Technology（情報通信技術）の略で、コンピュータやインターネットを支える機器類やソフトウェア等に関する技

術の総称です。

## Iターン

都会に住む人が、自分の故郷以外の地方へ移り住むことです。 151,189,311

## JET青年（ジェット青年）

「JET（Japan Exchange and Teaching）プログラム：語学指導等を行う外国青年招致事業」によって招かれた外国青年のことで、中学・高校での語学指導や地域レベルでの国際交流事業等に従事しています。 80

## JICA（ジャイカ）

Japan International Cooperation Agency（国際協力事業団）の略です。 80

## Jターン

進学や就職などで都会に出ていた人が、故郷に近い地方へ移り住むことです。 151

## NPO

Non-Profit Organization（民間非営利組織）の略です。営利を目的とせず、公共的な活動を行う民間の組織・団体の総称です。 5,7,37,39,43  
57,58,81,89  
96,107,126  
189,204

## R&amp;D事業

Research and Development（研究・開発）事業の略で、新製品の基礎研究と応用研究を行う事業のことです。 140

## SOHO（ソーホー）

Small Office, Home Officeの略で、パソコンやインターネットなどの情報通信技術を駆使して、小規模な共同オフィスや自宅で行われる事業形態のことです。 52,139,144  
189,283,286  
288,311

## TMO（タウンマネジメント機関）

Town Management Organizationの略で、商店街の組合・行政・まちづくり会社等のさまざまな組織の調整の場となっており、中心市街地活性化のための活動をまちづくりの観点から総合的に企画・調整し、その実現を図る機関です。 143,192,198  
243,255,266  
277,298,311

## Uターン

進学や就職などで都会に出ていた人が故郷に戻り住むことです。 151,189

## あ

## あすま路

栃木、福島、宮城、山形の4県が協同で設定している外国人観光客向けの広域周遊観光ルートです。「武家のロマン、日本のふるさと、自然と温泉との出会い」をテーマに、古き良き日本の姿を今に残す地として国内外にアピールしています。

## アメニティ

快適性のことです。土地、建物、気候などの環境の良さや、住み心地の良さなどをさします。

## い

## 医薬分業

医師・歯科医師が発行する院外処方箋で薬局が調剤する、医師等と薬剤師の分業体制のことで、それぞれの専門分野で業務を分担することによって医療の質的向上が図られます。

## インキュベート機能

研究開発型企業等の新技術や新製品開発などを、施設、経営、技術、資金面などから支援し、その事業化を促進する機能です。

## インターンシップ

学生・生徒が在学中に、企業などで自らの学習内容や将来の職業生活に関連した就業体験を行うことです。

## う

## ウォーキング・トレイル

健康維持や体力増進のために歩く「ウォーキング」のために整備された歩道のことです。

## “うつくしま、ふくしま。” 県民運動

美しい自然、美しいまち、美しいところの織りなす質の高い生活空間の実現に向けて、県民みんなで考え、みんなで行動しようという運動です。

## うつくしまコレクション

「ふくしま・ふるさと産品」の通称です。県内の物的・人的な資源や技術・技能を活用して作られ、その地域のイメージ形成に寄与し、ふるさとの誇りとなるような産品です。

## え

## エアポートセールス

空港の新規航空路線開設、就航便数の増加及び利用促進等を図るため、航空会社や荷主企業等に対して行うさまざまな活動のことです。

## エコ・ツーリズム

環境観光のことで、旅を通じて地球環境や自然保護への理解を深めるため、専門家が同行したり、現地で自然保護の実践活動を行うなど、環境問題について考えることに重点が置かれています。

## エコファーマー

県の認定を受け、化学肥料・化学農薬の低減とたい肥などによる土づくりを一体的に行う農業生産方式を導入している農業者のことです。

## エンパワーメント

「力をつけること」の意味で、個々の女性が自ら意識と能力を高め、政治的・経済的・社会的及び文化的に力を持った存在になることを示します。

## お

## 応急危険度判定士

大規模地震等で被災した建物について、ひび割れや傾斜などの危険性を判定する資格の認定を受けた者です。

## オフィス・アルカディア

地方拠点都市地域内に整備される新たな産業業務施設の集積拠点のことで、東京に一極集中している産業業務機能を全国に適正配置する受け皿となります。なお、アルカディアとは古代ギリシア語で「理想郷」の意味です。

## オフサイトセンター

原子力施設の近くに設置される原子力災害に迅速に対応するための緊急事態応急対策拠点施設です。通信設備や放射線等の情報を収集する設備を備え、国の原子力防災専門官が常駐します。

## 温室効果ガス

赤外線を吸収して地球温暖化をもたらす気体の総称で、二酸化炭素、メタン、フロンなどがあります。

## か

## 家族経営協定

農業経営内での役割分担や就業条件等を家族で協議・合意の上、文書で明確化するものです。

## 環境ホルモン

動物の体内に取り込まれた場合に、本来、その生体内で営まれている正常なホルモン作用に影響を与える化学物質のことです。

## 環境マネジメント

事業者が環境保全に向けた取組みを自主的に計画、実行、評価し、更にその結果に基づ



いて継続的な改善を図るためのシステムです。国際規格としてISO14000シリーズがあります。

## き

### 帰属利子

金融業の生産額を表すもので、銀行等の受取利子及び配当と支払利子の差額をさします。本来は他産業の付加価値から支払われたものであるため、総生産額からは二重計算としないよう控除します。

### 技能士

労働者の技能の国家検定制度である技能検定試験に合格した者に与えられる称号で、職種によっては等級区分があります。

### 救命救急センター

脳卒中、心筋梗塞、頭部損傷等の重篤な救急患者の医療を確保するために設置された、高度な診療機能を有する24時間体制の施設です。

### 勤労青少年ホーム

中小企業等で働く青少年を対象として、健全な余暇活動を行う場を提供し、また、各種の相談・指導等を行う施設で、市町村が設置します。

## <

### グリーン・ツーリズム

緑豊かな農山漁村地域において、その土地の自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動です。

### グリーン購入

環境への負荷ができるだけ少ない商品やサービスを優先的に購入することです。

### グループホーム

知的障害者や痴呆性高齢者等が、地域の一般住宅等において数名のグループで共同生活を営む場で、専任の世話人によって食事や健康管理等の日常生活援助が行われます。

### グローバル・スタンダード

国際的に認められた規格や世界的な基準・標準をさします。

## け

### ケアハウス

ひとり暮らしや夫婦のみの高齢者が自立した生活を維持できるよう、構造や設備の面で工夫

された軽費老人ホームで、居室は個室化されています。

### ケアマネジメント

保健・医療・福祉サービスを利用者のニーズに適合させるために必要な一連の活動のことで、課題分析（アセスメント）→サービス計画作成→サービス提供→サービスの再評価という流れをとります。

### 経済のソフト化・サービス化

経済構造が、第二次産業を中心とするハード的・モノ重視から第三次産業を中心とするソフト的・サービス重視へと移行することです。

### 研究シーズ

新しい技術や製品などを生み出す可能性を秘めた技術や知識のことです。

### 健康寿命

健康に生きられる期間のことで、全寿命から病気や事故などで健康を損ねた期間を差し引いたものです。

### 健康度評価（ヘルスアセスメント）

生活習慣病予防や介護予防のため、健康手帳交付等の機会に把握された生活習慣行動の情報と健康診査の結果から得られた危険因子に関する情報を活用して、現在の健康度を具体的に把握するものです。

### 建設副産物

建設工事に伴って副次的に発生する建設残土、コンクリート塊、木材等のことです。

### 建築協定

一定区域の住宅地や商店街の環境を維持・改善するため、土地所有者等全員の合意により、建築物の敷地、位置、構造、形態、意匠、建築設備に関する規制基準を設ける住民協定の制度です。

### 県民アドバイザー制度

「うつくしま21」の策定に広く県民の参画を得るために設けられた制度です。公募によって127人が「県民アドバイザー」として、県内7方部ごとに開催された会議やレポートなどを通じて計画の策定に参画しました。

## こ

### 高規格救急車

人工呼吸器等の医療機器や自動車電話・FAX等を搭載しており、救急救命士が病院にいる医師の指示の下に、車内において特定の救命行為を行うことができる救急車です。

### 公共下水道

主として市街地の下水を排除または処理するため、原則として市町村が建設・管理する下水道です。終末処理場を有するものと流域下水道に接続するものがあります。

## 公共用水域

河川、湖沼、港湾、沿岸海域等の公共の水域と、これに接続するかんがい用水路等の公共の水路をさします。

161,175,177  
283

## 合計特殊出生率

ある年次において、再生産年齢（通常15～49歳）にある女性をいくつかの年齢別階層に分け、各階層における出生率を合計したものです。この数値の水準が将来も継続すると仮定した場合において、一人の女性が一生の間に生む子どもの数の平均を表します。

20

## 国際会議観光都市

一定の条件を満たして国際コンベンションを受け入れることに積極的な都市で、国土交通省が認定しています。

149

## コージェネレーションシステム

発電の廃熱を冷暖房や給湯に利用するなど、1つのエネルギー源から電気と熱など2つ以上の有効なエネルギーを取り出して利用するシステムです。

195

## コーディネーター

特定の分野で、仕事がスムーズに運ぶように調整する専門家のことです。

58,81,90

## こどもエコクラブ

小中学生が地域の中で、主体的に環境の学習や実践活動に取り組むことを目的とした自主組織で、環境省等が活動を支援しています。

171

## コミュニティセンター

公民館、集会所、図書館などからなる、地域住民のために設けられた共同施設です。

107

## コミュニティ道路

自動車が自然に減速するような段差やカーブなどを設けて歩行者の優先を図るなど、人と自動車が共存できるように設計された道路です。

124,192

## コンベンション

大きな集会、会議、総会のことです。集客力が大きいことから、会議の開催だけでなく、会議終了後の観光、ショッピング等の経済効果も注目されています。

133,149,207  
249,252,305  
309

## さ

## 災害医療センター

災害被災地域の医療救護活動のため、後方病院として患者の受入れや医療救護スタッフの派遣などを行います。生活圏ごとに設けられる地域災害医療センターと、災害医療の研修機能も有する県全域を対象とした基幹災害医療センターがあります。

110

## 在宅介護支援センター

在宅介護に関する総合的な相談に応じ、各種の保健福祉サービスが総合的に受けられる

49,125

よう関係機関の連絡調整を行う施設です。基幹型と地域型があります。

## サテライト校

本校と情報通信ネットワークで結ばれた分校舎のことです。

250

## し

## ジェトロ（JETRO）

Japan External Trade Organization（日本貿易振興会）の略です。

149

## ジェンダーフリー

「男らしさ」「女らしさ」など社会的・文化的につくられた性差（＝ジェンダー）による枠をはめることなく、男女とも多様な生き方を許容する社会をつくろうという考え方です。

102

## 自主防災組織

地域住民が自分たちの地域は自分たちで守るという連帯感に基づいて、自主的に結成する防災組織です。一般に、自治会・町内会単位で組織されます。

115

## 周産期医療

妊娠満22週から生後1週未満までの期間の母子に関わる医療のことです。

48,111

## 集落排水施設

農山漁村の生活環境の改善と公共用水域等の水質保全を図るため、集落のし尿や生活雑排水等の汚水、汚泥、雨水を処理する施設です。

29,124,161  
175,194,275

## 授産施設

障害などのために就業が困難な人に、就労や技能修得の機会を与え、自立を助長することを目的とした施設です。

99

## 首都機能移転

国政全般の改革を促進し、東京への一極集中の是正や災害対応力の強化を図るため、国会・行政・司法の中核的機能を東京圏以外へ移転しようとするものです。平成11年12月に国会等移転審議会によって「栃木・福島地域」などが移転先候補地に選定され、国会で移転の実現に向けた審議が行われています。

16,33,34  
198,207,222  
246,247,249  
255,258,259  
261

## 循環資源

廃棄物等のうち、リサイクルや熱回収等が可能で有用なものをさします。

56,159

## 少年サポートセンター

警察本部に設置されている補導の専門組織で、関係機関やボランティア等と連携して、街頭補導活動等の非行防止対策、被害に遭った少年達への支援活動等を行っています。

76

## 少年センター

少年の非行防止を目的とする総合的な実践活動を行う拠点として県内10市に設置されており、市が民間有識者を補導員として委嘱

76





して、街頭補導や相談活動、有害環境の浄化活動等を行っています。

## 情報リテラシー

パソコンなどの情報通信機器の操作能力や、膨大な情報から必要なものを選択して活用する能力に加え、情報社会の倫理なども含めた基礎的な情報活用能力のことです。

## 小規模作業所

就業が困難な障害者の働く場として地域の中で運営されている作業所で、任意に設置された法律に基づかない施設です。

## ショートステイ

短期入所生活介護、短期入所療養介護等のことで、家族が病気等で一時的に介護が困難になった場合などに、障害者や高齢者等を福祉施設などで短期間預かり、介護や機能訓練を行います。

## シルバーサービス

民間企業が提供する高齢者向けのさまざまなサービスのことで。

## 新エネルギー

太陽・風力・地熱などの自然エネルギーや、廃棄物発電などのリサイクル型エネルギーなどの総称です。従来型エネルギーの新たな利用形態である燃料電池なども含まれます。

## 新交通管理システム（UTMS）

UTMSはUniversal Traffic Management Systemsの略です。最新の情報通信技術を活用して交通管理を行うシステムで、カーナビゲーションを通じてリアルタイムで交通情報を提供するシステムや、交通公害を低減するシステムなど、10のサブシステムから構成されています。

## 人工リーフ

景観を考慮し海面下に設置する消波構造物で、捨石などの材料を用いて人工的に造成する岩礁です。

## 身体障害者療護施設

常時の介護を必要とする身体障害者が入所し、治療や養護を受ける施設です。

## す

## スクールカウンセラー

いじめや不登校等の問題の解決と予防のため、学校に配置されている臨床心理士などの専門家のことで、児童・生徒の生活上の問題や悩みについて、本人や保護者、教員の相談に応じ、指導・助言を行います。

## スプロール

宅地、住宅等が無秩序、無計画に都市の郊外に広がることです。

## せ

## 生活習慣病

がん、心臓病、脳卒中などの総称で、かつては一般に「成人病」と呼ばれていましたが、低年齢化が進み、また、食生活などの生活習慣の影響が大きいことから、近年は「生活習慣病」と呼ばれています。

## 政策評価システム

施策や事務事業の成果の有効性・必要性等を評価し、その結果を次の企画立案に役立てるシステムです。

## セルフケア

自分の健康は自分で守るという考え方に基づいて、自らの健康管理を行うことです。

## ゼロ・エミッション

廃棄物を全く（ゼロ）出さない（エミッション＝放出）ことで、ある産業の生産工程から排出される廃棄物を別の産業の原料としてリサイクルする完全循環型の生産システム等が考えられています。

## 善意通訳者（グッドウィルガイド）

ボランティア精神に基づき、外国人旅行者に対して道案内や交通案内等の簡単な通訳を無償で行うガイドです。

## そ

## 総合学科

高等学校における学科の一つで、単位制を原則とし、一部の必修科目を除けば、生徒が自らの興味や進路希望等に合わせて教科・科目を主体的に選択・履修することができます。

## 総合的な学習の時間

各学校が地域や学校の実態等に応じて、創意工夫を生かした横断的・総合的な学習を行う時間のことで。

## た

## ダイオキシン類

極めて毒性の強い化学物質で、燃焼や化学反応などの過程で非意図的に生成されます。化学構造によって多くの異性体があります。

## 多自然型川づくり

治水機能を高めるとともに、多様な生物の生息環境や美しい自然景観を保全・創出するため、より自然に近い素材や工法によって河川整備を行うことです。

## 多自然居住地域

都市の利便性、ゆとりある居住環境、豊かな自然を併せ持った圏域のことで、中小都市

とその周辺の農山漁村が一体となって圏域を形成します。国土づくりの長期計画である「全国総合開発計画」の中で述べられています。

## ち

## 地域高規格道路

全国的な高規格幹線道路（高速道路）と連携して、地域のつながりを強化する自動車専用道路またはこれと同等の機能を有し、60～80km/hの高速走行ができる質の高い道路のことです。

## 地域プラットフォーム

起業家や新しい事業展開を考えている企業に対し、研究開発から事業化に至るまでの各段階において、技術面や経営面などさまざまな課題に適時適切に対応できる総合的な支援体制のことです。

## チーム・ティーチング

複数の教師がチームを組み、協力しながら授業計画を立案し実践する指導方式です。

## 地区計画

一体的にまちづくりを行う必要のある地区について、公園・街路等の地区施設の配置、建築物の用途・形態等の制限などの総合的な計画を策定するもので、市町村が都市計画の一つとして決定します。

## 中山間地域

都市や平地以外の中間及び山間農業地域などをさします。山林や傾斜地が多く生産条件は不利ですが、その豊かな自然は景観や環境保全などの公益的機能を果たしており、また、くらしに根ざした伝統・文化が息づく地域でもあります。

## 中小企業勤労者福祉サービスセンター

中小企業が単独では実施しがたい大企業並みの福利厚生事業を、共同で総合的に実施する団体です。

## て

## デイサービス

通所介護のことで、障害者や高齢者等が送迎バス等によりデイサービスセンターに通い、または居宅の訪問を受けるなどして、入浴、給食、日常動作訓練などのサービスを受けるものです。

## 適応指導教室

不登校児童生徒に対する指導・教育やカウンセリングを行うために、学校外に設置されている施設です。

## テクノスーパーライナー

国土交通省の主導により開発が進められて

いる新型超高速貨物船です。平成7年度から実験船による運航試験が行われており、海上輸送の高度化をもたらす海の新幹線として期待されています。

## テレメータシステム

遠隔測定システムのことです。遠隔地から送信される測定値を表示・記録します。

## テレワーク

勤務形態の一種で、パソコンなどの情報通信技術を活用した遠隔勤務のことです。

## と

## 透水性舗装

雨水が地中に浸透できる舗装です。雨の日でも滑りにくく、また、自然な水循環にも寄与します。

## 特産林産物

森林から生産される木材以外の林産物の総称で、きのこ、栗、うるし、山菜、竹、木炭など多岐にわたります。

## 独立行政法人

国の機関や各省庁の業務部門を切り離し、独立の法人格を与えた行政機関のことです。

## に

## ニューファクトリー

単なる生産や雇用の場としての工場ではなく、快適な作業環境、生活環境等を有し、地域社会と融合した工場のことです。

## 認定農業者

農業経営の規模拡大や合理化等をめざし、自らの創意工夫による農業経営の改善計画を策定して、市町村から認められた者です。意欲ある農業の担い手として、税制上の特典などさまざまな支援が行われます。

## の

## ノーマライゼーション

障害者や高齢者などを特別視するのではなく、すべての人々があるがままの姿で同等の権利を享受し、家庭や地域の中でともに生きる社会こそノーマルであるという考え方です。

## ノンステップバス

誰もが乗り降りしやすいよう、乗降口に階段（ステップ）のない超低床バスです。

## は

## ハイテク犯罪

コンピュータや精密機械などのハイテク技



術・製品を使用した犯罪の総称です。ハイテクとは、ハイテクノロジー（High Technology）の略で、高度な科学技術、先端技術のことです。

### パーク・アンド・バスライド

都市の交通混雑を緩和するため、通勤等において郊外のバスターミナル等に自動車を駐車（パーク）し、バスに乗り換えて（バスライド）都心部へ移動するシステムです。

### バイオテクノロジー

生命工学、生物工学のことで、生物の機能や生命活動を応用した産業技術の総称です。

### ハザードマップ

災害等の危険区域と災害時の避難場所や注意事項などを表示した地図です。

### バスロケーションシステム

電波を利用して、バスの運行情報を停留所のバス接近表示標識や営業所へ送るなどにより、利用者へのサービス向上を図るシステムです。

### バリアフリー

高齢者や障害者などが社会生活を営む上でさまざまな障壁（バリア）を除去することです。

## ひ

### ビジターセンター

自然公園を訪れる利用者に対し、公園内の自然などをわかりやすく解説し、自然保護思想の普及啓発を図る施設です。

## ふ

### ファミリー・サポート・センター

育児や介護の援助を受けたい人で行いたい人からなる会員組織で、センター事務局（アドバイザー）が仲介して、会員同士で一時的に子どもを預かるなどの相互援助活動を行います。

### 複層林

種類や樹齢等の異なる樹木で構成された森林のことです。伐採が部分的・持続的となるため、収入の安定に加えて、土砂災害の防止など森林の公益的機能の保全にも役立ちます。

### プライマリーケア

住居や職場に近い診療所等で行う医療のことです。健康について基本的なサービスを提供するとともに、必要に応じて二次的医療機関等に紹介する機能も有します。

### ブルー・ツーリズム

漁村など海浜地域における滞在型の余暇活動のことで、グリーン・ツーリズムの海洋版

です。

### プレカット

品質向上や工期短縮等のため、住宅用の木材をあらかじめ工場などで機械加工することです。

### フレックスタイム制度

就業規則などで決められた総労働時間等を守れば、労働者がその範囲内で出退勤時間を自主的に決めることができる自由勤務時間制度です。

## へ

### 閉鎖性水域

外部との水の交換が少ない湖沼、内湾、内海などをさします。流入してくる汚濁物質が外部へ流出しにくいいため、水質の汚濁が進みやすい性質があります。

### へき地医療支援センター

へき地診療所等へ必要に応じて臨時に医師を派遣するなどの診療支援や、町村が行う保健福祉事業への協力を行う機関です。

## ほ

### 放課後児童クラブ

昼間保護者のいない家庭の小学校低学年児童等に放課後の生活の場を与え、健全に育成するためのクラブで、児童館や学校の余裕教室などを活動場所として、遊びを通じた指導などを行います。

### ポートセールス

港湾への船舶や貨物の誘致活動のことです。新規航路の開設や便数増加等を目的として、船会社や荷主企業等に対して説明会や見学会等を行います。

### ホームヘルプサービス

訪問介護のことで、日常生活に支障のある障害者や高齢者等がいる家庭をホームヘルパーが訪問して、介護・家事サービスの提供や生活上の相談・助言などを行います。

### 北東国土軸

中央高地から関東北部を経て東北の太平洋側から北海道に至る地域及びその周辺地域をさします。全国総合開発計画「21世紀の国土のグランドデザイン」において、多軸型国土構造の形成のための4つの国土軸の一つとされています。

### ホスピタリティ

歓待すること、親切にもてなすことです。



**ポテンシャル**

可能性、潜在する力のことです。

2,14,19,22  
30,ほか**み****道の駅**

一般道路における休憩施設と地域振興施設を複合化した施設です。駐車場、トイレ、案内所などのほか、物産館などの施設を設けて地域おこしの拠点として活用されている例もあります。

186,264,286  
296,297,309**みちのく歴史・文化回廊**

南東北中枢広域都市圏構想に掲げられた福島、宮城、山形の3県にまたがる広域観光ルート整備事業です。歴史・文化資源の特性を踏まえたテーマ・ストーリーを設定して、史跡や伝統行事などを組み合わせた回廊として整備し、情報発信を行っています。

241,242

**緑の少年団**

小学生が緑を通じて広く自然と関わり、自然学習や緑の愛護活動などを行う自主的組織です。

76,166

**も****森にしずむ都市**

本県が提唱している移転後の新首都の基本理念です。自然との共生を重視し、元来人工物であった都市を、森と森がつくる生態系や四季の変化の中に限りなく一体化させるような、自然にやさしい都市づくりをめざしています。

18,33

**ゆ****ユニバーサル・デザイン**

年齢・性別・障害の有無などにかかわらず、可能な限りすべての人が使いやすいまちづくり・ものづくりを進めていこうという考え方です。

42,43,51  
141,143**り****リエゾンオフィス**

産学官連携を促進するため、大学等と企業とを仲介し、研究交流、各種補助事業の紹介、事業化ニーズ等の情報提供などを行う機関です。

252

**リカレント教育**

社会人が必要な知識・技術を習得するために、大学等に再入学して学習・研究等を行うなど、学校生活と社会生活を交互に繰り返す

64,79

ことのできる教育システムのことです。

**リサイクルプラザ**

収集ごみから再資源化が可能なビン、缶、紙等を選別・回収する施設で、不用品の補修や再生品の保管、展示なども行います。

159

**リフト付きバス**

車椅子のまま乗降できるよう電動リフトを備えたバスです。

123

**流域下水道**

複数の市町村の公共下水道からの下水を受けて処理する広域的な役割を持つ下水道で、原則として都道府県が建設・管理します。

175,239,251

**わ****ワンストップ体制**

これまで個別の担当窓口で別々に提供していたサービスを、1か所ですべての用が足りるようにした統合サービス提供体制のことです。

145

## 福島県新長期総合計画 うつくしま21



■発行 平成13年3月  
■発行者 福島県  
〒960-8670  
福島県福島市杉妻町2番16号  
■印刷 キング印刷株式会社  
〒960-1106  
福島県福島市下鳥渡字新町西6番地の1

福島県新長期総合計画

# うつくしま 21

地球時代にはばたくネットワーク社会  
～ともにつくる美しいふくしま～